



The Hitoyoshi Rotary

人 吉

通 算 2769回
2013年10月4日
第13回例会
毎週金曜日

ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を

Engage Rotary, Change Lives

会報編集 石蔵尚之委員

2013-2014年度 R I 会長
ロン D. バートン

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②2171 ◀ 例会場 事務局 ▶ 清流山水花 あゆの里内 ☎②6665 ☎②6505

[URL] <http://www12.ocn.ne.jp/~hrc/> [E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

クラブ活動記録 [URL] <http://hrcwatanabe.jimdo.com/>

10月 職業奉仕 米山月間

点 鐘	渡辺洋文会長
歌 唱	ソングリーダー 片岡啓一委員 国 歌 「君が代」 R S 「奉仕の理想」
司会・進行	平田プロگرام委員長
来訪者紹介	渡辺洋文会長
	熊本県球磨地域振興局 局長 永井正幸 様 〃 次長 鳥井 修 様

会長の時間

渡辺洋文会長

早いものでもう10月です。朝晩は肌寒くなってきましたので体調を崩さないようお気をつけ下さい。

10月は職業奉仕と米山月間です。先週の土曜日、熊本で米山のセミナーが有りましたので参加してきました。後日報告があると思います。

財団も米山も寄付額が激減しているの、従来通りの事業継続が困難になってきているそうです。会員が激減しているので当然の結果だとは思いますが、余り寄付を強要すると会員減少に拍車をかける事にもなりかねませんので、慎重にするべきだと思いますが、寄付に対する意識が低いクラブも多く有りますので、そう言うクラブを啓蒙して、意識を変えて頂いて広く浅く寄付が集まるようにしていく方がいいのかなと思いました。

職業奉仕、職業奉仕とよく言いますが、職業奉仕って何？と聞かれて答えられる人は少ないのかなと思います。簡単に説明するのは難しいと思います。そもそも職業奉仕と言う用語は、アーサー・フレデリック・シェルドンという人が提唱した職業と奉仕を結び合わせた独特の概念ですが、それをロータリーの職業奉仕理念として取り入れたと言う事です。シェルドンは、一攫千金の利益を夢見たり、会員間の相互取引によって利益をあげたりするような姑息な手段を使うのではなく、

「自分の幸せは、自分の周りにいる人々の幸せと、決して無関係ではない。良質の職業人とは、自己改善を重ねて、自分の職場を健全に守ると共に、取引先・下請け業者・従業員・顧客など、自分の事業と関係を持つすべての人に幸せをもたらすことである。そして、その心を持って事業を営めば、必ず最高の利益が得られることを自分の職場で実証することによって、奉仕の精神の必要性を地域全体の職業人に伝えていかなければならない」という考え方で事業活動を営むことが、職業奉仕であると説いています。職業奉仕を理解する事が、ロータリーを理解する事なのかも知れませんか。

本年度、戦略計画委員会というのを新しく作りましたが、戦略計画委員会より危機管理委員会の方が解りやすかったかなと思っているのですが、将来起こるであろう危機や問題をどうすれば未然に防ぐ事が出来るのか？会員増強の問題・クラブの管理運営の問題・寄付の問題・どういふ社会奉仕がいいのかなどの問題を委員会で話し合っていて、提言して頂ければと思いますので、どうか宜しく御願いたします。

次年度委員会合の時に、井手幹事にいきなり振られてお話ししたのですが、仏教用語に「因果応報」と言うのが有るのはご存じだと思います。この世の中はすべて、「因と縁と果」で成り立っているとされているのですが、「因」というのは直接的な原因、「縁」は間接的な原因及び要因、それらが複雑に絡み合って「果」結果が生まれる、たとえば庭に花が咲いていて、その花を見て「ああ綺麗だな」と思う人は沢山いると思います。でも、何故そこに花が咲いているのかな？と考える人は少ないと思います。自分が去年まいた種かも知れないし、おじいちゃんおばあちゃんが蒔いた種の子孫かも知れないし、風で飛んできたかも知れない、鳥の糞に混じっていたかも知れない、その種が雨や風や色んな要因と複雑に絡み合いその結果としてそこに花が咲いている、原因がなければ結果もないと言う事です。

プラスの原因を沢山作ると、プラスの結果が沢山出来る。逆にマイナスの原因を作ってしまうと

マイナスの結果が生まれてしまいます。人間はとかく結果を見て一喜一憂することが多いと思いますが、プラスの結果であれマイナスの結果であれ、原因は何なのかと言う事を考える事が一番大事だと思います。

今年度も残り9ヶ月になりましたが、全員でプラスの原因をいっぱい作って、プラスの結果がいっぱい生まれてくるよう、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしく御願いたします。

幹事報告

井手富浩幹事

【第4回定例理事会承認事項報告】

- ①明治大学人吉球磨同窓紫会「第17回明治大学マドリッククラブ人吉演奏会」後援願いの件(名義使用)
- ②ロータリー情報委員会 和田委員長より新入会員用にロータリー情報誌の購入の件
「今日からロータリアン」 ¥300×20冊=¥6,000
「ロータリー情報ハンドブック」 ¥2,000×10冊=¥20,000
- ③国際奉仕委員会 中川委員長より「慶山RC青少年交流事業」の決算報告の件(友愛基金への返金含む)
- ④田中賢治後援会より恒例の「第9回田中賢治チェロ名曲コンサート」への共催依頼の件
日時: H25 11/22(金) 18:00~
場所: 「カルチャーパレス 小ホール」 チケット¥2,000

【報告事項】

- ①木村正美会員 退会(~9/30)の件
- ②7/26 第2回理事会に於いて承認された第2回城見庭園まつり広告[1万円]について実行委員会より取り下げの件

【連絡事項】

- ①人吉市青少年育成市民会議より「おくんち祭りの街頭パトロール実施」の依頼
→新世代委員会 補導部会 瀧田副委員長へ
- ②RID2720地区赤山ガバナーより「ガバナーノミニー決定(2015~2016年度)」の報告
熊本南RC野田三郎氏に決定
- ③人吉文化協会より「第40回記念人吉文化祭・前夜祭」の案内→渡辺会長へ
日時: H25 10/30(水) 18:00~
場所: 「アンジェリーク平安」 ¥4,000

【配布物】なし

【回覧物】

指宿RC週報

【例会変更・取止め】

- 八代南RC10/22→18:30~「基降東RC歓迎例会」の為
「八代グランドホテル」
- 10/29→10/30 12:30~八代4RC合同ガバナー公式訪問の為 「セレクトロイヤル八代」
- 指宿RC10/22→職場訪問例会の為 場所は未定
- 宇土RC10/16→早朝例会の為 7:00~
場所「西岡神宮」に変更
- 熊本東RC10/22→職場訪問例会の為
「自衛隊熊本駐屯地」に変更
- 10/29→直前会長・幹事慰労会の為19:00~
「フランス料理七彩」に変更
- 熊本西南RC10/31→例会取止め クラブ定款に基づく
- 熊本東南RC10/30→例会取止め クラブ定款に基づく

出席率報告

浅野 強委員

本日の出席率			
会員数	64名	72.13%	
出席免除	3名	9/20出席率	77.78%
欠席者数	17名	補填数	14名
出席者数	44名	修正出席率	100%

*届け出欠席

安達・石蔵・大久保・中川・高山・馬場・立山・岩本・上田・齊藤
和田・中島・板井・外山・中村・木村・有馬

*出席免除会員 (b) 増田, 愛甲, 山本

*メイクアップ

クリーン人吉; 堤脩・山賀・赤池・浦田・浅野・石蔵・井手
地区研修会; 中川 芦北RC; 中川・中島 多良木RC; 安達・片岡
人吉中央RC; 安達 荒尾RC35周年; 浅野

会務報告

【親睦委員会】

村山能史委員長

10月の誕生祝い

小林祐介会員 11日	尾方芳樹会員 12日
漆野智康会員 14日	和田栄司会員 20日
馴田信治会員 28日	浅野 強会員 30日



10月の結婚祝い

和田栄司会員 3日	赤池利光会員 10日
石蔵尚之会員 13日	板井英朗会員 15日
川越公弘会員 15日	中島博之会員 17日

【プログラム委員会】

外部卓話

講師紹介

尾方芳樹会員

熊本県 県南広域本部

球磨地域振興局長 永井正幸 様 (57歳)

出身地 熊本市

学歴 熊本大学法文学部法学科卒

職歴

S年4月 熊本県庁入庁

S63~H1年 東京事務所(企業誘致担当)

H2~3年 秘書課(細川・福島知事秘書)

H17~18年 総合政策局 政策調整審議員

H22~23年 健康福祉部 高齢者支援課長

H24年 健康福祉部 長寿社会局長

H25年 球磨地域振興局長

家族 妻・子2人

趣味・特技 柔道2段。熊本市藤園中時代 全国制覇
身体を動かすことが好き。時間を見て球磨川沿いをジョギング。

「人吉球磨地域の振興について」



熊本県県南広域本部球磨地域振興局長の永井正幸と申します。卓話の時間をいただき感謝申し上げます。本日は、人吉球磨地域の振興について、観光、フードバレー構想の面から話をさせていただきます。

■はじめに

〔人吉球磨の印象〕

人吉球磨地域は、霊峰市房山や白髪岳、九州山地の山々に囲まれた球磨盆地を清流球磨川が貫流しており、また、良質な温泉にも恵まれ、「山紫水明の地」と称えられるにふさわしい、豊かな自然に抱かれた盆地である。また、古くから「百太郎溝」「幸野溝」などの農業用水が整備され、米、野菜、果樹、畜産など多彩な農業生産が営まれている。

さらに、中世から700年という長きにわたる相良氏の統治の下、国宝青井阿蘇神社をはじめとする数多くの古社寺建造物が大切に保存、継承されており、国指定重要文化財の約9割が所在するなど県下でも大変稀な地域で、独特の文化圏が形成されている。

〔人吉球磨の課題〕

このように、資源豊富で人材にも恵まれた人吉球磨地域であるが、その課題をあげるとすれば、地域の魅力が対外的に認知されているかどうかというところではないだろうか。人吉球磨管内には10の市町村があり、観光、商工、農林関係など様々な組織が存在する。そうした関係者が広域に、あるいは、分野横断的に連携して、地域を盛り立てていこうという共通認識が必要ではないかと思う。県は今年度から、地域振興局を管内4つの広域本部に再編した。人吉球磨、八代、水俣芦北の3地域を、「県南広域本部」とし、今後、広域連携での取組みに力を入れていきたいと考えている。

一方で、大型の施設整備、企業の立地を待っていても、今の時代はなかなか難しい。それぞれの地域、あるいは団体、グループ、個人が、自分たちにできることは何か、的を絞って、知恵を絞って、競い合うことが大事。そういう意味では、緩やかなネットワークのなかで情報共有しながら、お互いに刺激し合うことで新たな取組みが生まれるような環境が必要ではないか。

■観光振興について

〔豊かな観光資源〕

○自然、景観

冒頭申し上げたように、人吉球磨地域には温泉をはじめとして豊かな観光資源がある。自然、景観としては、日本三急流の球磨川を利用したくま川下りや、最近ではラフティングなども人気。「千年杉」の立ち並ぶ市房山のある水上村は、「森林セラピー基地」に認定され、ガイド付きのトレッキング・ツアーなどが行われている。棚田や盆地の田園風景などは、今後、グリーンツーリズムの展開を図るうえでの財産になる。川遊びなども様々な組み合わせることができる。

○歴史文化遺産

歴史、文化の面では、県下唯一の国宝である青井阿蘇神社には多くの観光客が訪れているが、湯前の城泉寺や多良木の青蓮寺など、大変価値のある文化財がまだまだ知られていない。相良三十三観音は、観音巡りやお接待、地域の食文化など人々の営みと深く結びついており、そうした伝統をどう継承していくのか、対外的な情報発信を含めて地域全体で検討していく必要がある。

○球磨焼酎

また、球磨焼酎も500年の歴史を誇るこの地域の文化。全国的にも、「酒蔵ツーリズム」ということで、酒にまつわる文化を観光、まちづくりにつなげていこうという動きもあり、海外からの誘客の観点からも期待が寄せられている。

○鉄道

いまだ現役で活躍する「生きた産業遺産」、開業100年を超えるJR肥薩線は、沿線の13件の施設が国の近代化産業遺産群に登録されている。SL人吉や「いさぶろう・しんぺい号」などの観光列車も人気。のどかな田園風景のなかを走るくま川鉄道（旧JR湯前線）も、来年開業90周年を迎える歴史ある路線。

〔観光振興の方向性〕

○観光地域づくり

観光資源に恵まれた人吉球磨地域であるが、ここ数年の観光客数の推移を見てみると、日帰客は増加傾向にあるものの、宿泊客は頭打ちの状態、10年前に比べると減少してきている。団体旅行から個人旅行へと旅のスタイルが変化していくなかで、「着地型観光」というものが注目されはじめている。発地（出発地）にある観光業者が各地の名所旧跡を組み合わせる効率よく見て回る「発地型観光」でなく、着地（到着地）から地域の魅力を発信し、観光客を呼び込む「着地型観光」に地域の関係者自ら取り組み、それを地域づくりにつなげようというもの。

そのためには、地域の観光の基軸となる考え方（コンセプト）を発見、創出することが大事。対外的に地域イメージを効果的に伝えるためにも、単なるキャッチフレーズにとどまらない、背景にある「物語」が必要。「地域らしさ」を伝えるには、そこに古くからある資源（もの、技術、知恵など）がベースになるが、時代のニーズを捉え、ここでしか味わえない、体験できない何かを提案するものでないと、リピーターの獲得にはつながらないのではないか。

〔歴史文化遺産の広域的な活用〕

昨年9月、歴史文化遺産の保存・継承、活用を広域的に進めていくため、管内の各市町村、人吉球磨行政事務組合、県などによる「球磨地域文化財等広域連携協議会」が発足した。これは、文化財等の所管である教育委員会と、観光や地域づくりの担当部局が連携した新たな試みであり、来年度以降どのような事業を進めていくか協議を進めているところ。

今後は、文化財所有者や地元住民の方々、ヘリテージマネージャー（文化財の専門知識を持った建築士）など民間の方々のお力もお借りしながら、地

域共有の財産として継承、活用が図れるよう機運を高めていきたいと考えている。

〔鉄道資源の活用〕

くま川鉄道においては、今年度から来年度にかけて観光車両が5両導入される計画になっている。これに合わせて、県ではくま川鉄道の主要駅周辺の道路等の環境整備を3年計画で進める予定。これらを契機として、県と市町村等で作る広域観光の連携組織においては、ソフト面の対応として、地域の観光、商工、地域づくりなどの関係者に幅広く呼びかけ、人吉球磨地域の着地型観光の商品化に向けた取組みを進めたいと考えている。

また、肥薩線沿線や人吉球磨管内の市町村等で作る協議会では、世界遺産登録を目指すなかで、まずは肥薩線、くま川鉄道の駅舎などを国の登録有形文化財に申請しようという動きもある。さらに将来的には、肥薩おれんじ鉄道、九州新幹線などと連携していけば、県境を越えた、より広域的な情報発信も可能になるのではないかな。

■くまもと県南フードバレー構想について

〔県南地域のポテンシャル〕

県南地域の活性化に向けて、県が力を入れているのが「フードバレー構想」。八代地域、水俣・芦北地域、人吉・球磨地域を構想推進エリアとしている。これは、県南地域のポテンシャルである豊富な農林水産物、鹿児島、宮崎などとの高速交通網の結節点という交通アクセスのよさ、東アジアに向けた物流拠点としての八代港を活用し、食に関連する産業を振興し、県南地域の活性化を図ろうというもの。アメリカのシリコン・バレーにならい、食品・バイオなどの研究開発機能や企業を集積させる「フードバレー」の形成を目指している。

〔人吉球磨地域の現状、新たな動き〕

人吉球磨地域には、焼酎の蔵元が数多く（28蔵元）立地しており、農商工連携が広がる素地がある。あさぎり町においては、平成20年、製薬会社からの委託生産方式で薬草（ミシマサイコ）の栽培がはじまり、現在では6市町村、80戸を超える農家に広がっている。企業の農業参入としては、東京で飲食店等を経営する会社が、相良村でヤマトイモの栽培を昨年はじめており、加工場の設置も計画されている。

〔フードバレー構想の取組みの方向性〕

構想の取組みの方向性として次の4つを掲げている。

- ①6次産業化・農商工連携による高付加価値化
- ②企業・研究開発機能等の集積
- ③首都圏等への販路拡大、輸出促進
- ④人材育成の強化・推進体制の構築

〔構想の具体化に向けて〕

○くまもと県南フードバレー推進協議会の設立
今年7月、県や市町村をはじめ農林水産業者や企業、農林・商工関係団体などで構成する「くまもと県南フードバレー推進協議会」を設立した。現在、300を超える企業、団体、個人（域外の加工・流通関係事業者などの準会員も含めると400余り）が加入している。

今後、協議会において、セミナーの開催による農林、商工業関係者の取組みへの支援や、異業種交流会やネットワークを活用したビジネスマッチング、共同研究の推進など、関係者間の連携強化を図っていく。

■おわりに

観光振興とフードバレー構想、2つの側面から地域振興について話をさせていただいたが、いずれにも共通するキーワードは、知事も申しているが「協調」と「競争」。今後、市町村合併がなかなか難しいなかで、地域が緩やかに連携していく方法を探っていかなければならないと思う。その一つが「協調」。連携できる基軸を見つけ、地域全体の価値、活力を高めていくこと。もう一つは「競争」。広域連携のなかで、それぞれの地域、それぞれの主体が持ち味を活かし、工夫を凝らして成果をあげること。よい意味での競争が相乗効果を生む。

いずれにしても、スモール・ビジネスの積み重ねが大事。小さな成功を積み重ね、裾野を広げていくことで、地域的な集積につながり、新たなチャンスと呼び込むことができるのではないかな。

本日お集まりの皆様におかれては、様々な業種の方がいらっしゃると思うが、観光、農業に直接携わっておられない方も、一度それぞれの視点で観光、農業、あるいは地域というものを考えていただければと思う。地域振興局としても、県の身近な相談窓口ということで、いろんな角度からのご意見を伺い、情報共有ができればと思うので、どうぞお気軽にお声掛けいただきたい。ご静聴ありがとうございました。

【ニコニコ箱委員会】

青木一幸委員長

- ・井手幹事 永井局長様、鳥井次長様、本日の卓話ありがとうございました。
- ・渡辺会長 永井局長、鳥井次長、卓話ありがとうございました。
- ・尾方会員 永井局長 卓話ありがとうございました。また、鳥井次長お疲れ様でした。誕生祝いありがとうございました。
- ・堤正博会員 永井局長様、卓話ありがとうございました。永井局長様鳥井次長様も同窓です。
- ・有村会員 永井局長の卓話有り難う御座いました。
- ・伊久美会員 永井局長様の卓話ありがとうございました。鳥井次長様、実行される諸事業によりしくお願いいたします。
- ・立山社会奉仕委員長 アンケート調査にご協力ありがとうございました。今月号のロータリーの友に前年度の事業が載りました。片岡さん、鳥井先生お世話になりました。元雑誌委員長
- ・友永会員 早退します。

【米山記念奨学委員会】

- ・片岡会員 永井局長、鳥井次長、ようこそ！よろしく。

点 鐘 渡辺洋文会長